

1. 平均燃料価格の算定

原油、LNGおよび石炭の3ヶ月間の価格の平均値を算定。
にて算定したそれぞれの値に換算係数を乗じ、合算のうえ平均燃料価格を算定。

(貿易統計価格)

	平成20年1~3月 (料金改定時)	平成21年9~11月 (平成22年2月分)	平成21年10~12月(平成22年3月分)			
			平均値	平成21年10月	平成21年11月	平成21年12月
原油 (円/kl)	62,735	41,734	42,330	39,722	42,608	44,127
LNG (円/t)	58,282	42,157	44,322	42,783	43,963	45,736
石炭 (円/t)	8,873	8,647	8,280	8,600	8,422	7,814

(確報) (確報) (9桁速報)

平均燃料価格(円/kl)	42,700	30,400
--------------	--------	--------

(基準燃料価格)

<換算係数>
原油換算係数×熱量構成比

原油価格	42,330 円/kl	×	0.2782 ()
LNG価格	44,322 円/t	×	0.3996 ()
石炭価格	8,280 円/t	×	0.2239 ()
+)			

↓(100円単位とし、10円の位で四捨五入)

平均燃料価格 31,300 円/kl (対前期: +900円/kl)

2. 燃料費調整単価の算定(低圧供給の場合)

平均燃料価格から基準燃料価格を差し引き、基準単価を乗じ、基準燃料費調整単価を算定。
基準燃料費調整単価に燃料費調整の特別措置単価および経過措置単価を加算し、燃料費調整単価を算定。

$$\begin{aligned}
 \text{基準燃料費調整単価} &= \left(\frac{\text{平均燃料価格}}{1,000} - \frac{\text{基準燃料価格}}{1,000} \right) \times \text{基準単価} \\
 &= \left(\frac{31,300}{1,000} - \frac{42,700}{1,000} \right) \times \frac{19.0 \text{ 銭/kWh}}{1,000} \\
 &= -216.60 \text{ 銭/kWh} \\
 &\quad \downarrow \text{(小数点以下第1位で四捨五入)} \\
 \text{燃料費調整単価} &= -217 \text{ 銭/kWh} + 34 \text{ 銭/kWh} + 8 \text{ 銭/kWh} \\
 &= -175 \text{ 銭/kWh}
 \end{aligned}$$

燃料費調整の特別措置単価 燃料費調整の経過措置単価

3. 3月分の電気料金の算定(一般のご家庭の場合)

燃料費調整単価に使用電力量を乗じた燃調費調整額を差し引きし算定。
契約内容: 従量電灯B・30A、使用電力量: 290kWh、口座振替のお客さまの場合

基本料金 819.00円	+	電力量料金 17.87円/kWh × 120kWh 22.86円/kWh × 170kWh +	-	口座振替 割引額 52.50円	=	6,289円
		燃料費調整額 燃料費調整単価 × ご使用電力量 -1.75円/kWh × 290kWh				

上記計算例には、消費税等相当額を含みます。

以上